

**令和2年度 第2回女川町地域公共交通会議  
説明資料**

**今後の町民バスの再編・見直し方針について**

## [ 目 次 ]

<b>1 . 今後の町民バスの再編・見直し方針について</b> . . . . .	<b>1</b>
1-1 第2期実証試験の概要(案) . . . . .	1
1-2 見直しパターン . . . . .	2
1-3 パターン別の比較 . . . . .	14
<b>2 . 今後のスケジュール(案)</b> . . . . .	<b>16</b>

# 1. 今後の町民バスの再編・見直し方針について

## 1-1 第2期実証試験の概要（案）

### (1) 目的

町民バスにおいては、1日の運行便数が少ないため、一度の利用で最初の目的地から次の目的地へのバス移動は難しく、一度の外出で複数の用事を済ませられないとの意見があった。そこで、町内移動の円滑化を図り、利便性の向上による新たな利用者の掘り起こしを目指すために、令和2年7月13日から2ヵ月間、町内の主要施設を20分に1本の間隔で循環する「循環20バス」の実証試験を行った。

前回の実証試験では「公共交通維持確保の視点」「福祉・健康増進の視点」「まちの賑わいの視点」「利便性の視点」で一定の効果が得られた。一方で、「バス停位置」「運行時刻・時間帯」などの運行システムや「既存の町民バスとの棲み分け」に関しては本格運行に向けて新たな課題が明らかとなった。前回の実証試験の効果検証を踏まえて、前回の運行内容を改善し、令和3年10月1日（金）に町民バスの再編・見直しを実施する（予定）。

### (2) 概要

#### 1) 路線

- ・（仮称）循環20バス、町民バス

#### 2) 実施期間

- ・令和3年10月1日（金）～令和4年3月31日（木）

#### 3) 料金

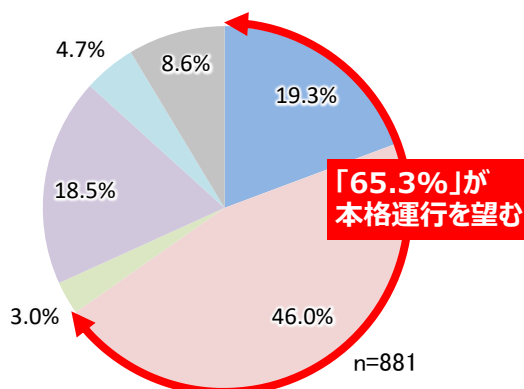
- ・無料

#### 4) 運行形態

- ・使用車両：計6～7台 ※P9以降をご参照ください。
- ・運行：交通事業者への業務委託

### 参考) 「循環20バス」の本格運行に対する要望

アンケート調査結果によると、7割以上の住民が「循環20バス」の本格運行を要望している。



	回答数	割合
是非利用したいため、本格運行を望む	170	19.3%
利用するかわからないが、本格運行を望む	405	46.0%
本格運行はしない方がよい	26	3.0%
どちらでもない	163	18.5%
その他	41	4.7%
無回答	76	8.6%
合計	881	100.0%

- 是非利用したいため、本格運行を望む
- 利用するかわからないが、本格運行を望む
- 本格運行はしない方がよい
- どちらでもない
- その他
- 無回答

（資料：R2年度町民アンケート）

## 1-2見直しパターン

### (1) 生活軸の位置づけ

H30年度に策定した「女川町地域公共交通網形成計画」においては、生活軸形成の基本的な考え方として『商業施設等へのアクセス性』『女川駅と離島航路発着所間の接続改善・連絡強化』『まちなかの回遊性』の3つを設定している。

＜生活軸形成にあたっての基本的な考え方＞※網形成計画より

- 住宅・団地から病院やまちなか商業施設等へのアクセス性を確保する
- JR女川駅と離島航路発着所間の接続改善・連絡強化を図る
- 生活利便施設が立地するまちなかの回遊性を確保する

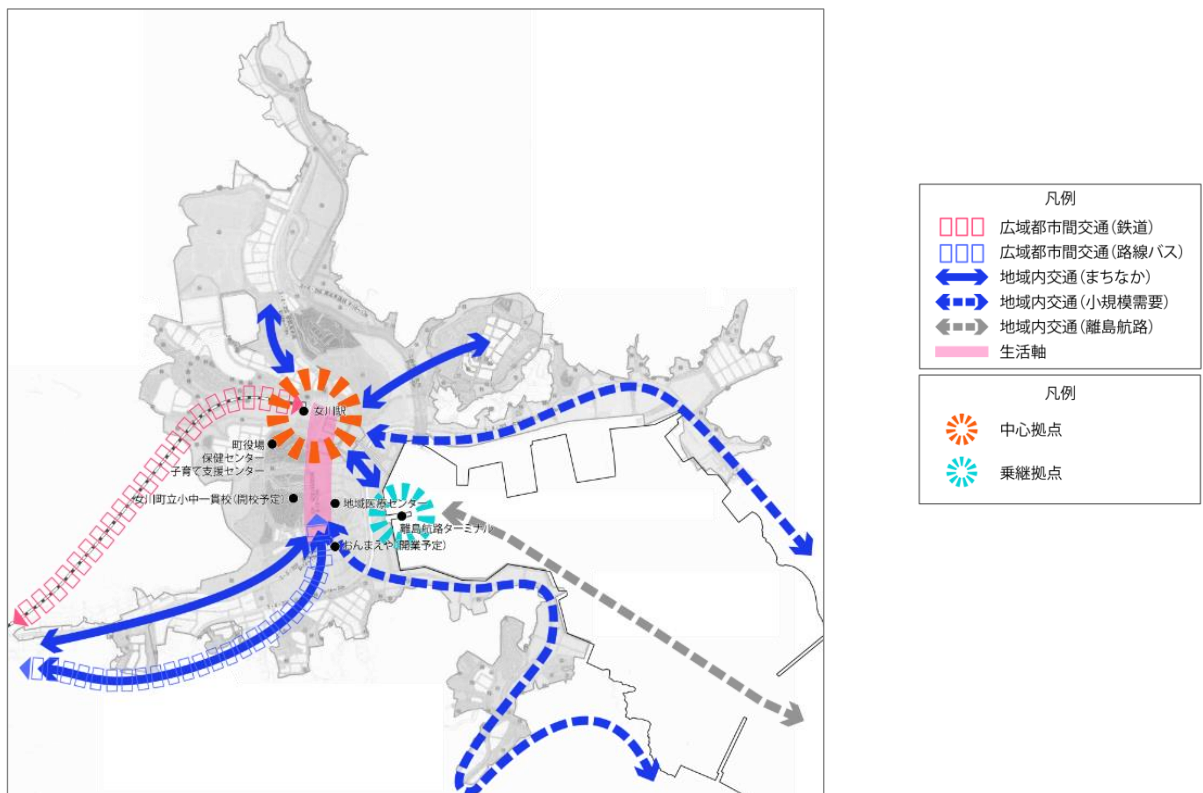


図 にぎわい拠点の拡大図（イメージ案）

## (2) バス停別の利用実績

町民バス及び、R2年7月に実証試験を行った循環20バスの利用実績を以下に示す。

表 町民バス・循環20バスの乗降客数

NO	バス停名	町民バス計						循環20バス							
		乗	降	乗降者数 合計 (人)	運行本数 (本/日)	運行日数 (日)	乗降者数 (人/本)	乗降者数 (人/日)	乗	降	乗降者数 合計 (人)	運行本数 (本/日)	運行日数 (日)	乗降者数 (人/本)	乗降者数 (人/日)
1	浦宿セブンイレブン前	8	6	14	16	14	0.1	1.0	73	152	225	20	53	0.2	4.2
2	針浜島居前	7	1	8	8	7	0.1	1.1	—	—	—	—	—	—	—
3	針浜海岸前	1	0	1	8	7	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—
4	特養おながわ前	1	0	1	8	7	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—
5	旭が丘集会所前	29	14	43	8	7	0.8	6.1	295	235	530	20	53	0.5	10.0
6	荒立西地区前	9	2	11	8	7	0.2	1.6	—	—	—	—	—	—	—
7	第一保育所前	1	0	1	8	7	0.0	0.1	20	32	52	20	53	0.0	1.0
8	桜ヶ丘変電所前	6	1	7	8	7	0.1	1.0	51	63	114	20	53	0.1	2.2
9	内山望郷団地前	1	0	1	8	7	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—
10	桜ヶ丘東住宅前	1	1	2	8	7	0.0	0.3	—	—	—	—	—	—	—
11	西区集会所前	1	1	2	8	7	0.0	0.3	—	—	—	—	—	—	—
12	スーパーおんまや前①	19	12	31	23	24	0.1	1.3	145	170	315	20	53	0.3	5.9
13	地域医療センター前①	10	81	91	26	24	0.1	3.8	94	87	181	20	53	0.2	3.4
14	女川薬局前	4	9	13	19	24	0.0	0.5	—	—	—	—	—	—	—
15	女川町役場前①	0	8	8	26	24	0.0	0.3	57	37	94	20	53	0.1	1.8
16	女川駅①	67	79	146	26	24	0.2	6.1	475	1	476	20	53	0.4	9.0
17	大原住宅前	18	7	25	16	14	0.1	1.8	93	113	206	20	53	0.2	3.9
18	総合体育館前	30	23	53	16	14	0.2	3.8	368	389	757	20	53	0.7	14.3
19	指ヶ浜団地	4	4	8	5	5	0.3	1.6	—	—	—	—	—	—	—
20	御前浜	1	1	2	5	5	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	—
21	尾浦東団地	0	0	0	5	5	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
22	尾浦西団地	2	3	5	5	5	0.2	1.0	—	—	—	—	—	—	—
23	竹浦北団地	2	4	6	5	5	0.2	1.2	—	—	—	—	—	—	—
24	竹浦南団地	2	1	3	5	5	0.1	0.6	—	—	—	—	—	—	—
25	桐ヶ崎団地	0	0	0	5	5	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
26	石浜団地	0	0	0	5	5	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
27	宮ヶ崎集会所	0	1	1	5	5	0.0	0.2	19	46	65	20	53	0.1	1.2
28	宮ヶ崎団地	3	0	3	5	5	0.1	0.6	—	—	—	—	—	—	—
29	宮ヶ崎電力アパート前	1	1	2	5	5	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	—
30	離島航路ターミナル前	5	0	5	5	17	0.1	0.3	—	—	—	—	—	—	—
31	ツルハドラッグ女川店前	16	9	25	18	17	0.1	1.5	183	247	430	20	53	0.4	8.1
32	小屋取	9	2	11	5	5	0.4	2.2	—	—	—	—	—	—	—
33	塚浜団地	0	2	2	5	5	0.1	0.4	—	—	—	—	—	—	—
34	飯子浜団地	0	0	0	5	5	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
35	野々浜団地	10	6	16	5	5	0.6	3.2	—	—	—	—	—	—	—
36	大石原住宅前	1	2	3	5	5	0.1	0.6	—	—	—	—	—	—	—
37	横浦団地	5	3	8	5	5	0.3	1.6	—	—	—	—	—	—	—
38	高白団地	1	5	6	5	5	0.2	1.2	—	—	—	—	—	—	—
39	小乗団地	3	2	5	5	5	0.2	1.0	—	—	—	—	—	—	—
40	マリンバルおさかな市場前	0	0	0	7	7	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
41	安住バス停前	0	0	0	8	7	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—
42	大沢バス停前	0	1	1	8	7	0.0	0.1	—	—	—	—	—	—	—
43	大沢フリー乗降区間	2	2	4	8	7	0.1	0.6	—	—	—	—	—	—	—
44	尾田峯フリー乗降区間	6	2	8	8	7	0.1	1.1	—	—	—	—	—	—	—
45	旧第一小学校前	5	1	6	8	7	0.1	0.9	—	—	—	—	—	—	—
46	照源寺登口	2	2	4	8	7	0.1	0.6	92	87	179	20	53	0.2	3.4
47	女川南団地	1	1	2	8	7	0.0	0.3	—	—	—	—	—	—	—
48	女川住宅前(ずい道地区)	16	12	28	8	7	0.5	4.0	—	—	—	—	—	—	—
49	運動公園清水入口前	2	0	2	8	7	0.0	0.3	—	—	—	—	—	—	—
50	女川駅前②	—	—	—	—	—	—	—	249	174	423	20	53	0.4	8.0
51	スーパーおんまや前②	—	—	—	—	—	—	—	139	53	192	20	53	0.2	3.6
52	地域医療センター前②	—	—	—	—	—	—	—	57	108	165	20	53	0.2	3.1
53	女川町役場前②	—	—	—	—	—	—	—	9	83	92	20	53	0.1	1.7
54	女川駅前③	—	—	—	—	—	—	—	5	347	352	20	53	0.3	6.6
	合計	312	312	624	445	431	6.6	55.4	2,424	2,424	4,848	360	954	4.6	91.5

※北浦便・五部浦便は「ツルハドラッグ女川店前行き」1便のデータ欠損

※町民バスでは、乗降客数が1.0人/日を超える箇所を赤ハッチで表示。

※調査日は、循環20バスが7/13~9/13、北浦便が9/23・25・28・30・10/1、五部浦便が10/2・5・6・8・9、町内循環便が10/12~16・19~20、安住・清水便が10/21~23・26~29。

●利用状況に応じたバス停の見直しが必要

### (3) アンケートなどの調査結果からのニーズ

#### ①バス停位置

- ・利用者の行き先のうち、「女川薬局」14.9%、「シーバルピア女川・ハマテラス」14.9%などには乗り入れていない（町民アンケート）
- ・町民バスの利用が1.0人/日以上ある「ずい道」などについては、住民から循環20バスの停留所設置要望がある（町民アンケート、事業者ヒアリング）【P3、バス停別の利用実績を参照】
- ・宮ヶ崎集会所など利用が少ないバス停の見直し要望（利用実績、利用者ヒアリング）【P3、バス停別の利用実績を参照】

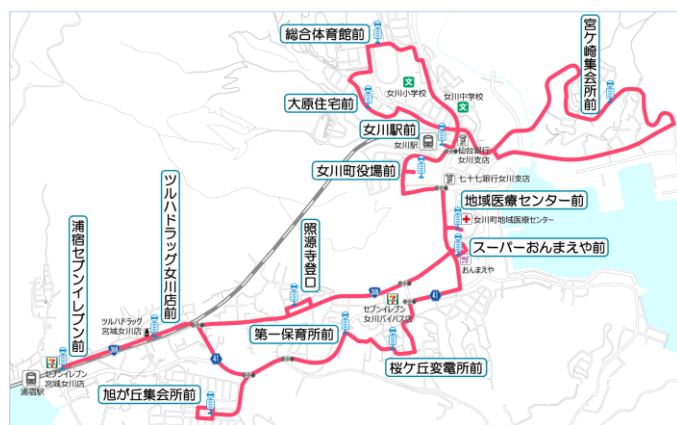
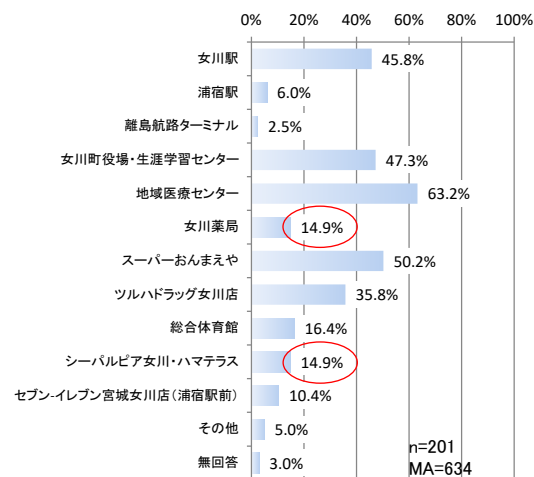


図 循環20バスの運行ルート

#### 図 循環20バス利用者の目的地・目的施設

(資料：R2年度町民アンケート)

- 女川薬局やずい道、西区などのニーズに応じた運行範囲の拡充が必要
- 宮ヶ崎集会所などの利用の少ないバス停の見直しが必要

#### ②所要時間

- ・所要時間については、住民・利用者からは一定の評価を得ている（町民アンケート・利用者ヒアリング）
- ・利用者の中には、夏場は快適な車内で負担なく一周乗り続ける人も見受けられた（事業者ヒアリング）
- ・バス停での乗降時間の考慮不足により慢性的な遅延が発生していた（事業者ヒアリング）

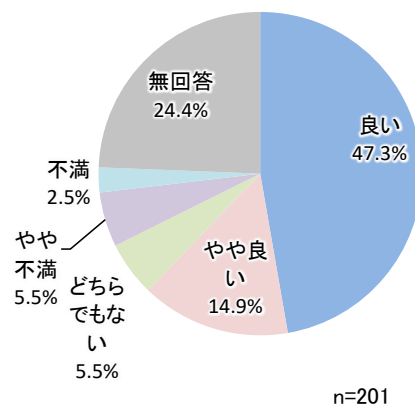


図 所要時間に対する評価  
(資料：R2年度町民アンケート)

- 安全な運行に向けた定時性の確保が必要

### ③運行本数

- ・運行本数については、住民・利用者からは一定の評価を得ている（町民アンケート・利用者ヒアリング）
- ・循環 20 バスを運行した理由として 6 割が「20 分に 1 本の間隔で運行しているから」と回答（町民アンケート）
- ・一方で、住民・利用者からは「20 分間隔でなくても 30 分間隔、1 時間間隔でもよい」との意見も少なくない（町民アンケート）【P7、循環 20 バスに関するフリーコメントを参照】

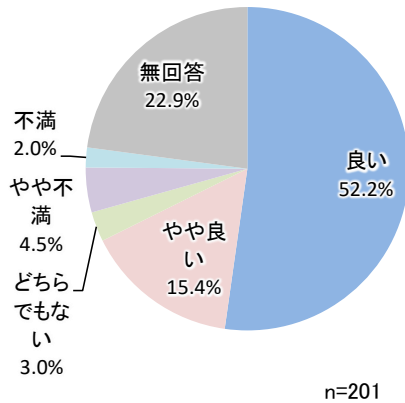


図 運行本数に対する評価

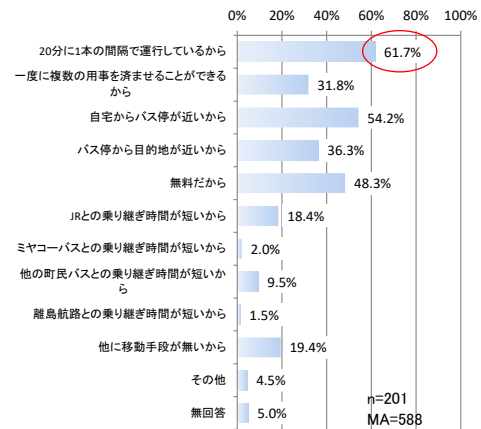


図 循環 20 バスを利用した理由

（資料：R2 年度町民アンケート）

●20 分に 1 本の運行間隔に限らず、“30 分間隔” “1 時間間隔” など有効

### ④運行時刻・時間帯

- ・午前便は午後便の 1.5 倍の利用、特に朝一番の便（9:00 発）と午後一番の便（12:40 発）の利用が上位を占める一方で、15:20 発 15:40 発の便は 1.0 人に満たない（利用実績）
- ・住民・利用者からは JR 乗継や通院などで 8 時台を要望する声がある（利用者アンケート、利用者ヒアリング）【P7、循環 20 バスに関するフリーコメントを参照】

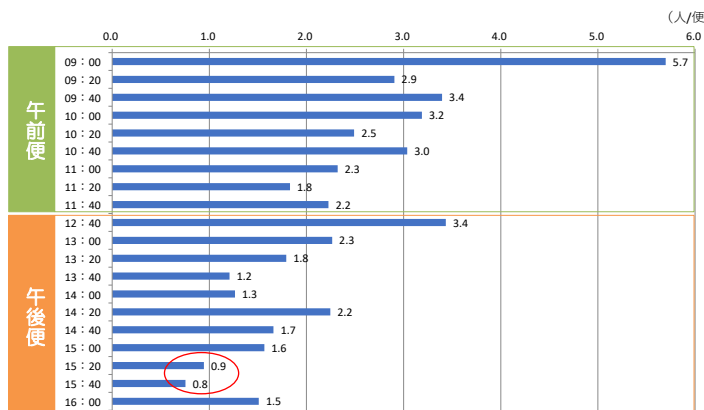


図 便別の平均乗者人数

（資料：循環 20 バス利用実績）

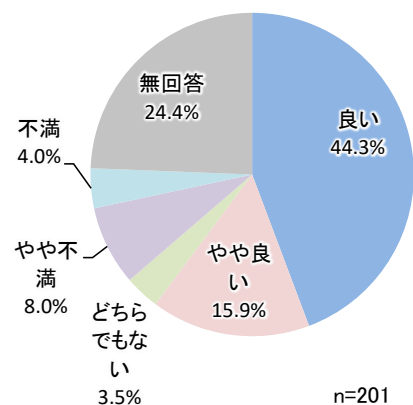


図 運行時刻に対する評価

（資料：R2 年度町民アンケート）

●利用状況や住民・利用者ニーズに応じた運行時刻・時間帯の見直しが必要

### ⑤町民バスとの乗り継ぎ

- ・循環 20 バス利用者の 3 割は乗り継ぎ利用あり。乗り継ぎ利用者のうち 5 割は町民バス（町民アンケート）

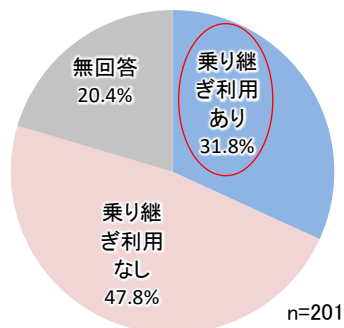


図 乗り継ぎ利用の状況

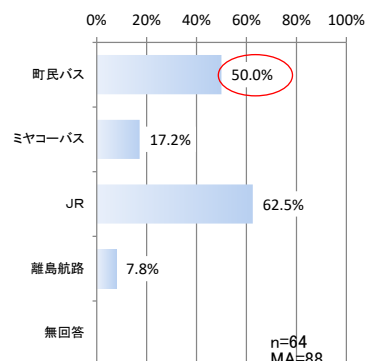


図 乗り継ぎ交通

（資料：R2 年度町民アンケート）

●町民バスとの乗り継ぎ考慮したダイヤ・ルート改善が必要

### ⑥JR との乗り継ぎ

- ・循環 20 バス利用者の 3 割は乗り継ぎ利用あり。乗り継ぎ利用者のうち 6 割は JR（町民アンケート）
- ・特に、循環 20 バスの利用者からは JR 乗継で 8 時台を要望（利用者ヒアリング・町民アンケート）【P7、循環 20 バスに関するフリーコメントを参照】

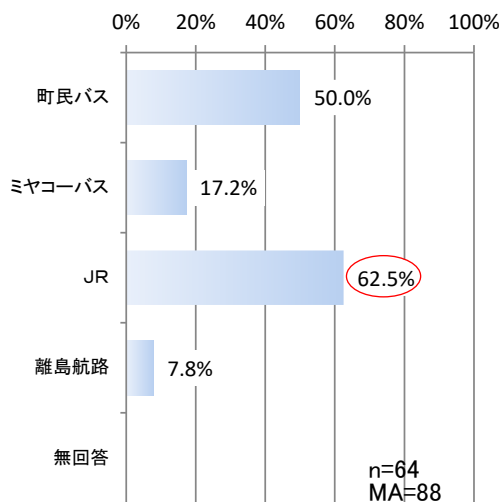


図 乗り継ぎ交通

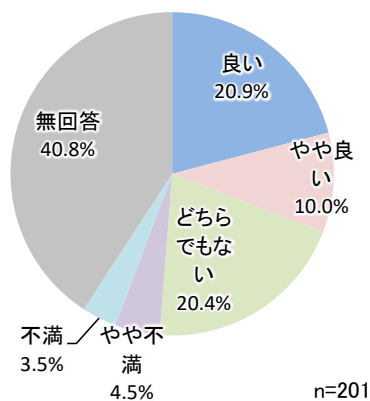


図 JR との乗り継ぎに対する評価

（資料：R2 年度町民アンケート）

●JR との乗り継ぎを考慮したダイヤ・ルート改善が必要



## ⑦循環 20 バスに関するフリーコメント（抜粋）

（資料：R2 年度町民アンケート、利用者ヒアリング）

### 【バス停・ルートに対する意見】

- ・なぜ女川住宅だけが運行しないのか。（75 歳以上、女性、女川住宅）
- ・宮ヶ崎から利用させて頂きましたが、集会所よりも、なかよし公園前のバス停周辺に住宅が集まっている為、ご老人の方々もより利用しやすくなるのではないかと思います。（30 代、女性、宮ヶ崎）
- ・薬局勤務で要望があるので薬局にも止まって欲しい（50 代、女性、清水）
- ・病院に通院しているので、薬局に来ないので不便です（60 代、女性、旭が丘）
- ・西区集会所の前を通って頂きたいです（75 歳以上、女性）
- ・小乗・石浜地区も対象地域に入れてほしいです（60 代、男性、小乗）
- ・私の住まいは浦宿二区の J R の線路を挟んで二分され 3 9 8 号線のツルハ通りの反対の場所にあり、近くの藤旅館の所に宮城交通のバス停があります。もし循環バスが通った場合、旭が丘よりツルハドラッグへ行く手前の宮城交通のバス停で止まれば大変助かります。（75 歳以上、女性、浦宿二区）
- ・町民バス乗り場より遠いので同じ乗り場から運行があれば利用したいです。（75 歳以上、女性）
- ・本格運行の場合、離島航路ターミナルの所にも発着所を作ってもらいたい。（75 歳以上、女性、江島）
- ・宮ヶ崎の高台のバス停車場にも止まってほしいと思います。（60 代、女性、宮ヶ崎）
- ・清水のバス停には 20 バスが来てないので総合体育館のバス停まで行かなくてはなりませんので、そこをなんとかならないでしょうか？（75 歳以上、女性、清水）

### 【運行時間に対する意見】

- ・医療センターに 8 時ごろ着くのがあるといいです。（75 歳以上、女性、旭が丘）
- ・朝の便を 1 コ増やしてほしい。8：30 に女川駅に着くやつがあれば良い。（不明、女性、不明）
- ・11 時～12 時の時間帯がないのが不便。体育館（多目的運動場）の利用時間が午後 1 時の場合、11 時～12 時の時間帯があると良いです。（75 歳以上、女性、女川南）
- ・30 分に 1 本の間隔で運行してもらえると利用しやすいと思います。（50 代、女性、浦宿区）
- ・20 分間隔より 30 分とか 1 時間とした方がわかりやすく、計画的に利用できるのではないかと思います。（60 代、女性、竹浦）
- ・試運転時に同地区に住む母親がたびたび利用していた。本数が少ない町民バスは利用したことがなかったが、20 分おきに乘れることに利便を感じ積極的に利用していた。30 分おき程度、有料でも良いので本格運行を望みます。（40 代、女性、浦宿三区）
- ・20 分に 1 回でなくともよいので、1 時間おき位でお願い出来れば利用させていただく回数も増える事と思います。（75 歳以上、女性、上三区）
- ・20 分ではせわしいから 30 分～40 分でも良いのでは？（60 代）
- ・高齢化が進む中、今後必要な移動手段だと思います。又、時間帯に関して夕方 5 時・6 時ぐらいまでバス運行があってほしいと思います。（50 代、男性、大原北区）
- ・30 バスでもいいと思います。（50 代、男性、浦宿一区）

#### 【運行経費に対する意見】

- ・町民バスも運行しているので、維持・管理費も含めると、本格運行はいかなものかと思う。町内でも離半島方面も運行してもらえば有り難いと思うが。  
(40代、男性、高白)
- ・町民が少なくなってきたのに、20分毎に必要な疑問に思います。利用者数と割合を出して時間を決めれば良いと思います。お金かけすぎかと思います。  
(50代、女性、旭が丘)
- ・今まで利用した事はありませんが、年齢を重ね車の運転が出来なくなった時は利用したいと思います！無料なら利用したいと回答しましたが、有料でも良いと思います。金額については、バスや人件費をまかなえる位は必要だと思うので、この先の様子を見ながら決めた方が良いと思います！(60代、女性、上三区)

#### 【その他】

- ・今まで利用したことはありませんが、年齢を重ね車の運転ができなくなったときは利用したいと思います！～以下、省略～ (60代、女性、上三区)
- ・今は運転可能ですが、いずれ免許返納の際は利用したいと思います。(75歳以上、男性、旭が丘)
- ・まだ車の運転ができるのですが、運転が出来なくなれば利用したいと思っています。女川は高齢者が多いので本数を減らしてもぜひ存続していただきたい。(60代、女性、旭が丘)

- 宮ヶ崎団地、女川薬局、西区、小乗、石浜などへの運行要望への対応検討が必要
- 8時台や昼の11~12時の時間帯の運行要望への対応検討が必要

#### (4) 本格運行に向けての留意点

- ・令和2年7月の実証試験(2台)と既存の町民バス(4台)のリソースと同等規模を想定する
- ・循環20バスだけでなく、既存町民バスなどを含めたネットワーク全体としての効率性に配慮する

## (5) 見直しパターン（案）

前項までの結果を踏まえて、見直しの基本的な考え方を設定する。

### 【町民バス見直しの基本的な考え方】

- ・循環20バスは中心部の移動に対応し、町民バスとの棲み分けを強化する。
- ・町民バスについては、小規模需要エリアから女川駅～女川町役場～女川薬局～地域医療センター～スーパーおんまえや間の「生活軸」へ効率的にアクセスする。（中心部のルート見直し、予約制の検討）
- ・乗継が多くなるが、複数の用事済ませられるよう主要施設を効率的にアクセスする。
- ・限られた財源の中で定時性を確保しつつ、間隔運行による利便性を維持する（30分間隔運行など）

上記の基本的な考え方にに基づき、3つの見直しパターンを設定する。

### ①：中心部の高台住宅団地から「にぎわい拠点」へのアクセス性を考慮した案

#### 【コンセプト】

- ・中心部の団地から「にぎわい拠点へのアクセス」を重視する。
  - ・「石浜団地」「宮ヶ崎集会所」「宮ヶ崎電力アパート前」「小乗団地」を除く（従来どおり町民バスで対応）。
- ⇒石浜・宮ヶ崎の一部・小乗を除くまちなかの五部浦便、北浦便でカバー

#### 【住民・利用者ニーズへの対応】

- ・町民アンケート結果で「30分に1本」、「1時間に1本」でもよいので運行範囲を広げてほしいとの要望があることから、ニーズの高いずい道や西区を運行範囲に含める。
- ・一部の町民バスと運行ルートが重複していることから、安住清水便と町内循環便を統合した（仮）安住便を浦宿で循環20バスに接続させるなどにより、循環20バスと町民バスの運行エリアを再整理する。
- ・ダイヤについては、定時性を確保するため30分に1本で運行する。
- ・女川駅でJRとの乗り継ぎ利用があることから、JRとの乗り継ぎダイヤを設定する。

## ②：主要な目的地＋利用の多い団地を R398 で結ぶ案

### 【コンセプト】

- ・まちなかの来訪者が目的施設の行き来ができる＋需要の大きい団地をカバーする。
  - ・石浜団地、宮ヶ崎団地、小乗団地などを新規路線で対応する。
- ⇒日常生活における町内の主要な目的施設：女川駅、女川町役場、地域医療センター、女川薬局、スーパーおんまえや、ツルハドラッグ女川店など※町民アンケートより設定
- ⇒需要の多い団地：総合体育館前、大原住宅前、大原住宅前（ずい道地区）、荒立西地区前、旭が丘集会所前、浦宿セブンイレブン前、尾田峯※循環 20 バス、町民バスの利用実績
- ⇒新規路線：石浜団地、宮ヶ崎団地、宮ヶ崎電力アパート前、西区集会所前、桜ヶ丘東住宅前、内山望郷団地前、桜ヶ丘変電所前、第一保育所前、小乗団地

### 【住民・利用者ニーズへの対応】

- ・町民アンケート結果で「30 分に 1 本」、「1 時間に 1 本」でもよいので運行範囲を広げてほしいとの要望があることから、ニーズの高いずい道や西区を運行範囲に含める。
- ・町民アンケート結果から小乗・石浜地区にも運行してほしいという要望に対しては、循環 20 バスと同等の運行頻度ではないものの、JR への乗り継ぎ時間を改善し利便性を高めた新規路線「(仮称)石浜・小乗便」を導入する。
- ・一部の町民バスと運行ルートが重複していることから、安住清水便と町内循環便を統合した(仮)安住便を浦宿で循環 20 バスに接続させるなどにより、循環 20 バスと町民バスの運行エリアを再整理する。
- ・ダイヤについては、定時性を確保するため 30 分に 1 本で運行する。
- ・女川駅で JR との乗り継ぎ利用があることから、JR との乗り継ぎダイヤを設定する。

## ③：R2 年 7 月の実証試験をベースに改善した案

### 【コンセプト】

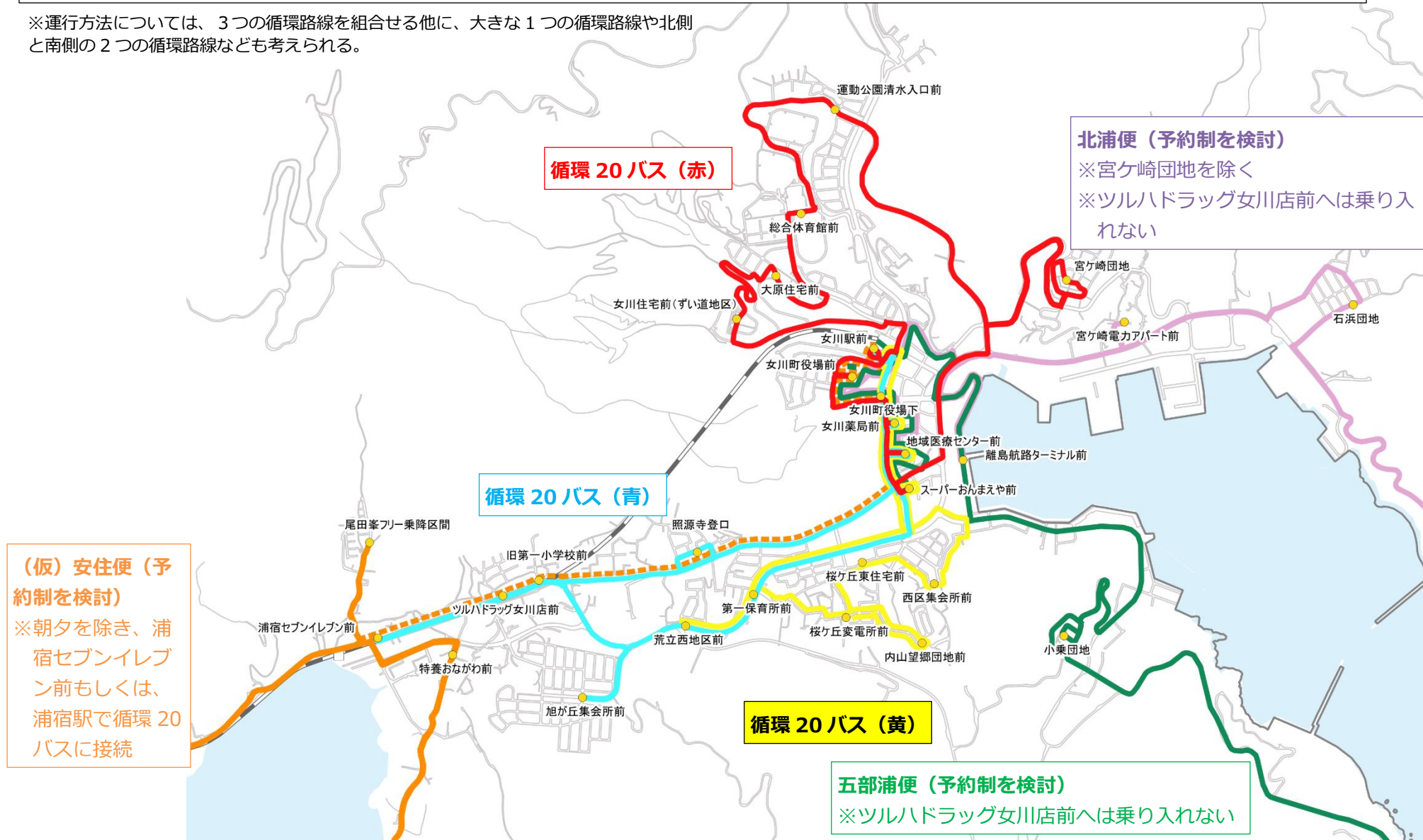
- ・R2 年 7 月の実証試験の運行内容をベースに、利用実績・住民ニーズ等を踏まえて、改善する。
- ⇒「宮ヶ崎団地」「女川薬局前」「運動公園清水入口」「大原住宅前（ずい道地区）」を追加し、「宮ヶ崎集会所前」を削除した。※利用実績・住民ニーズ等

### 【住民・利用者ニーズへの対応】

- ・町民アンケート結果でずい道や西区などの住民から運行範囲を広げてほしいとの要望があることから、ニーズの高いずい道や西区を運行範囲に含める。
- ・一部の町民バスと運行ルートが重複していることから、安住清水便と町内循環便を統合した(仮)安住便を浦宿で循環 20 バスに接続させるなどにより、循環 20 バスと町民バスの運行エリアを再整理する。
- ・ダイヤについては、実証試験時の 20 分に 1 本の運行に対して高評価を得ていることから、20 分に 1 本の等間隔運行を維持する。
- ・女川駅で JR との乗り継ぎ利用があることから、JR との乗り継ぎダイヤを設定する。

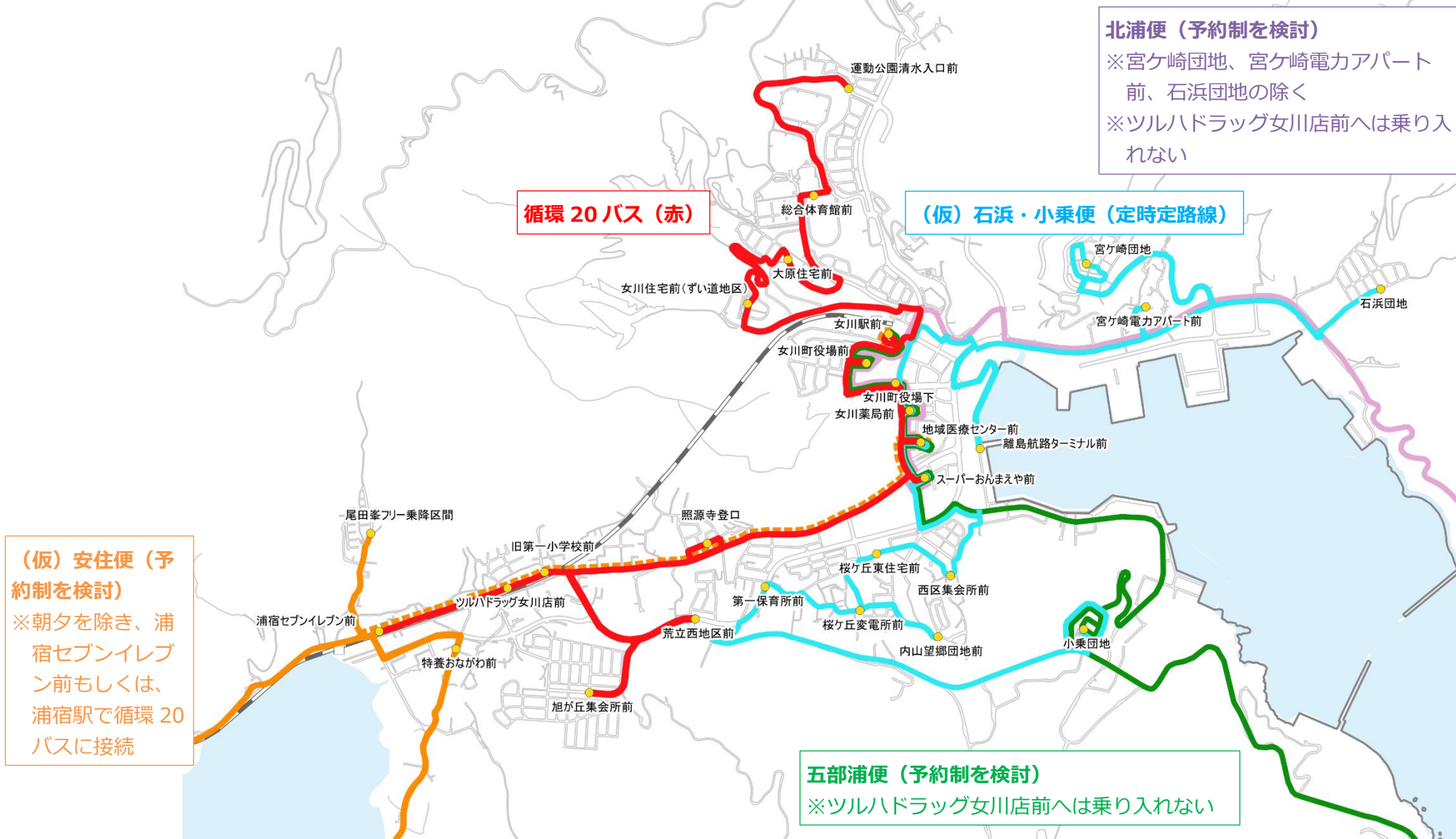
①：中心部の高台住宅団地から「にぎわい拠点」へのアクセス性を考慮した案

※運行方法については、3つの循環路線を組合せる他に、大きな1つの循環路線や北側と南側の2つの循環路線なども考えられる。

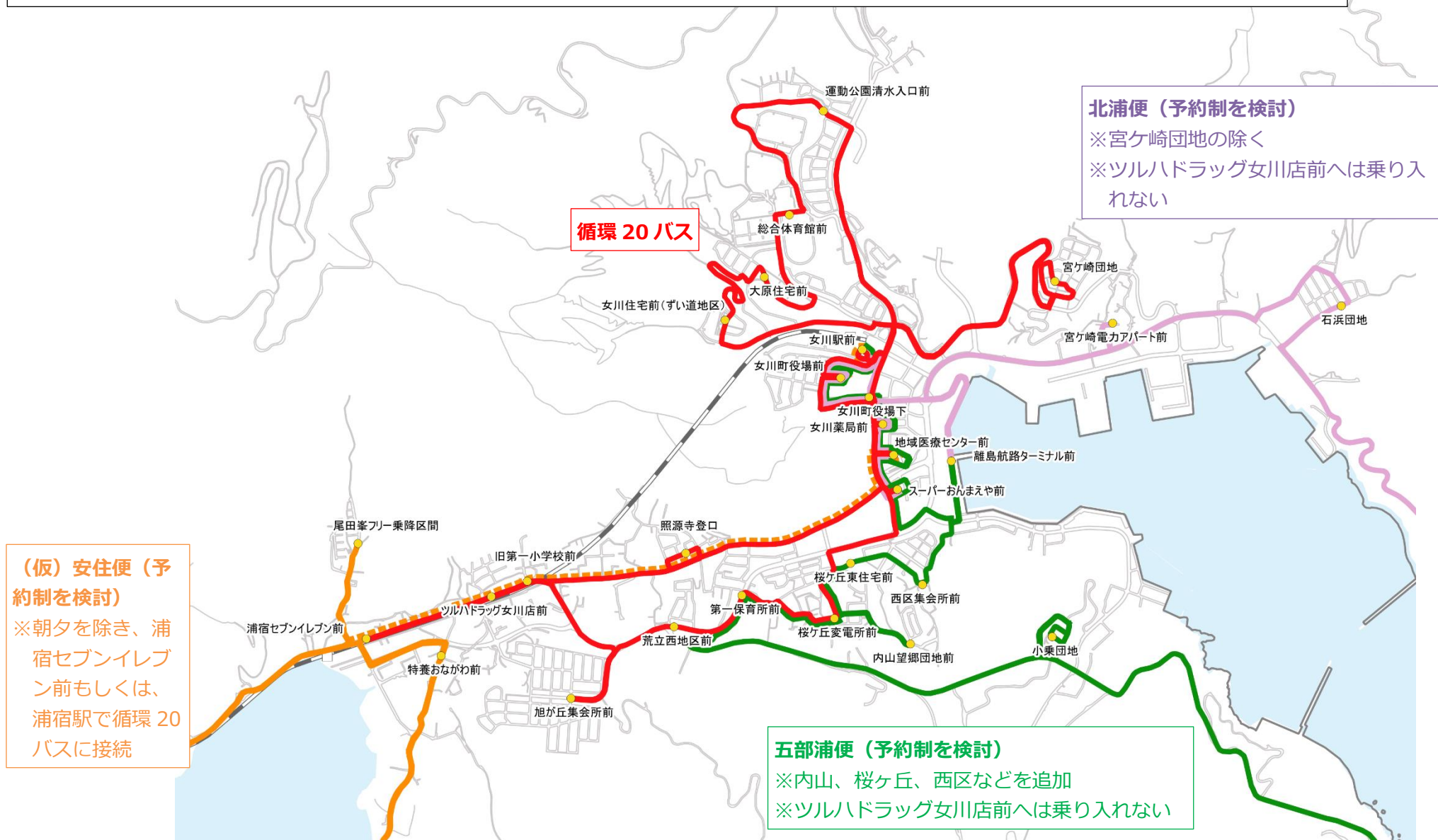




②：主要な目的地+利用の多い団地を R398 で結ぶ案



③：R2年7月の実証試験をベースに改善した案



## 1-3パターン別の比較

前項で設定した3つの運行パターンについて、メリット・デメリットを整理した。

表 パターン別のメリット・デメリット

案	①	②	③
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心部の団地から「にぎわい拠点へのアクセス」を重視する。</li> <li>「石浜団地」「宮ヶ崎集会所」「宮ヶ崎電力アパート前」「小乗団地」を除く（従来どおり町民バスで対応）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかの来訪者が目的施設の行き来ができる＋需要の大きい団地をカバーする。</li> <li>石浜団地、宮ヶ崎団地、小乗団地などを新規路線で対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年7月の実証試験の運行内容をベースに、利用実績・住民ニーズ等を踏まえて、改善する。</li> </ul>
概要	<p>計6台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>循環 20バス（赤）：1台</li> <li>循環 20バス（青）：1台</li> <li>循環 20バス（緑）：1台</li> <li>五部浦便：1台</li> <li>北浦便：1台</li> <li>（仮）安住便：1台</li> </ul>	<p>計7台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>循環 20バス：3台</li> <li>（仮）石浜・小乗便：1台</li> <li>五部浦便：1台</li> <li>北浦便：1台</li> <li>（仮）安住便：1台</li> </ul>	<p>計6台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>循環 20バス：3台</li> <li>五部浦便：1台</li> <li>北浦便：1台</li> <li>（仮）安住便：1台</li> </ul>
循環20バス	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20分間隔が困難なため30分間隔の運行となる。</li> <li>小さい循環線の組み合わせであり、遠回り感が少なく一周の運行時間が短い</li> <li>うまく乗継を行えば効率的に町内を回れる</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心部の大半をカバーされているため利便性向上</li> <li>利用が少ないバス停を運行することで効率性が低下</li> </ul> <p>【アクセス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝7時からの運行により通勤・通学でのJRのアクセスがしやすい</li> <li>循環 20バスの赤や黄からツルハドッグへは乗継が必要</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこのルートバスなのか目立つ表示が必要になる</li> <li>石浜地区や小乗地区など使用料について不公平感が出る</li> </ul>	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20分に間隔は困難なため30分間隔の運行となる。</li> <li>往復運行であり、最も頻度が高くなる</li> <li>一周44分の乗車時間になる。</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭が丘地区やすい道地区など、乗降者数の多いバス停をすべてカバーしている</li> <li>運行範囲が狭いため住宅地からの利用が不便な地区が多い</li> </ul> <p>【アクセス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川駅の北側エリアからツルハドッグへの乗継が不要</li> <li>朝のJRの接続が困難な地区がある</li> <li>女川B.P沿線の施設へのアクセスが不便</li> </ul>	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20分間隔を維持できる</li> <li>一周51分の乗車時間となる</li> <li>片周りの場合遠回り感が生じる</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旭が丘地区やすい道地区など、乗降者数の多いバス停をすべてカバーしている</li> </ul> <p>【アクセス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川駅の北側エリアからツルハドッグへの乗継不要</li> <li>朝のJRの接続が困難な地区がある。</li> </ul>



町民バス	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の町民バスのルートが縮小することで、運行時間が少なくなる</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存町民バスルートに類似しているため利用者の影響が少ない。</li> </ul> <p>【アクセス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存の町民バスのとおりJRと接続が可能</li> <li>ツルハドラッグや浦宿セブンイレブンへ行くには循環 20 バスに乗継が必要となる</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予約制にすることにより、経費を抑えることができる</li> </ul>	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心部は(仮)石浜・小乗便が定時定路線で運行することにより、北浦便、五部浦便のルートが縮小し、運行時間が少なくなる</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(仮)石浜・小乗便が離島航路ターミナルを経由することで、女川駅と離島航路ターミナルの接続改善・連絡強化が図られる</li> </ul> <p>【アクセス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝のJR接続が困難な地区が多い</li> <li>ツルハドラッグや浦宿セブンイレブンへ行くには循環 20 バスに乗継が必要となる</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北浦、五部浦を予約制にすることにより、経費を抑えることができる</li> <li>定時定路線のままだと、経費削減をすることができない</li> </ul>	<p>【運行時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五部浦便のカバーエリアが拡大し運行時間が延びる</li> </ul> <p>【運行ルート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五部浦便は運行ルートについて検討が必要</li> <li>西区周辺の少ない利用に対応可</li> </ul> <p>【アクセス等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JRとの接続をするため朝が早い運行開始となる</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五部浦便1便から2便までの回送時間が少ないため2台運行の検討が必要</li> </ul>
経費	<p>全体経費：47,628,119円</p> <p>■循環 20 バス：24,745,119円</p> <p>■町民バス：22,883,000円</p> <p>五部浦便：8,168,000円</p> <p>北浦便：7,624,000円</p> <p>(仮)安住便委託：7,091,000円</p>	<p>全体経費：55,179,516円</p> <p>■循環 20 バス：26,161,516円</p> <p>■町民バス：29,018,000円</p> <p>五部浦便：8,168,000円</p> <p>北浦便：7,624,000円</p> <p>(仮)安住便委託：7,091,000円</p> <p>(仮)石浜・小乗委託：6,135,000円</p>	<p>全体経費：49,556,296円</p> <p>■循環 20 バス：25,337,296円</p> <p>■町民バス：24,219,000円</p> <p>五部浦便：8,168,000円</p> <p>増台五部浦便：1,336,000円</p> <p>北浦便：7,624,000円</p> <p>(仮)安住便：7,091,000円</p>
評価	◎	△	△
20分間隔経費	<p>全体経費：70,525,358円</p> <p>■循環 20 バス：47,642,358円</p> <p>■町民バス：22,883,000円</p> <p>五部浦便：8,168,000円</p> <p>北浦便：7,624,000円</p> <p>(仮)安住便委託：7,091,000円</p>	<p>全体経費：79,187,536円</p> <p>■循環 20 バス：50,169,536円</p> <p>■町民バス：29,018,000円</p> <p>五部浦便：8,168,000円</p> <p>北浦便：7,624,000円</p> <p>(仮)安住便委託：7,091,000円</p> <p>(仮)石浜・小乗委託：6,135,000円</p>	<p>全体経費：49,556,296円</p> <p>■循環 20 バス：25,337,296円</p> <p>■町民バス：24,219,000円</p> <p>五部浦便：8,168,000円</p> <p>増台五部浦便：1,336,000円</p> <p>北浦便：7,624,000円</p> <p>(仮)安住便：7,091,000円</p>
評価	△	△	△

## 2. 今後のスケジュール（案）

分類	業務項目	令和2年度			令和3年度									令和4年度																
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
循環20バスの準備・導入	周知・PR																													
	第2期実証試験の開始																													
	循環20バスの本格運行の開始																													
既存町民バスの再編・見直し	中心部の運行見直し(循環20バスとの棲み分け対応)																													
	小規模需要エリアの見直し検討																													
	小規模需要エリアの再編・見直し(予約運行など)																													
会議等	公共交通会議	●	●	●								●	●																	
	研究会				○							○																		

案①【第2期実証試験のタイミング】 (10月～3月)  
案②【循環20バス本格運行のタイミング】 (4月～3月)

※時期は未定